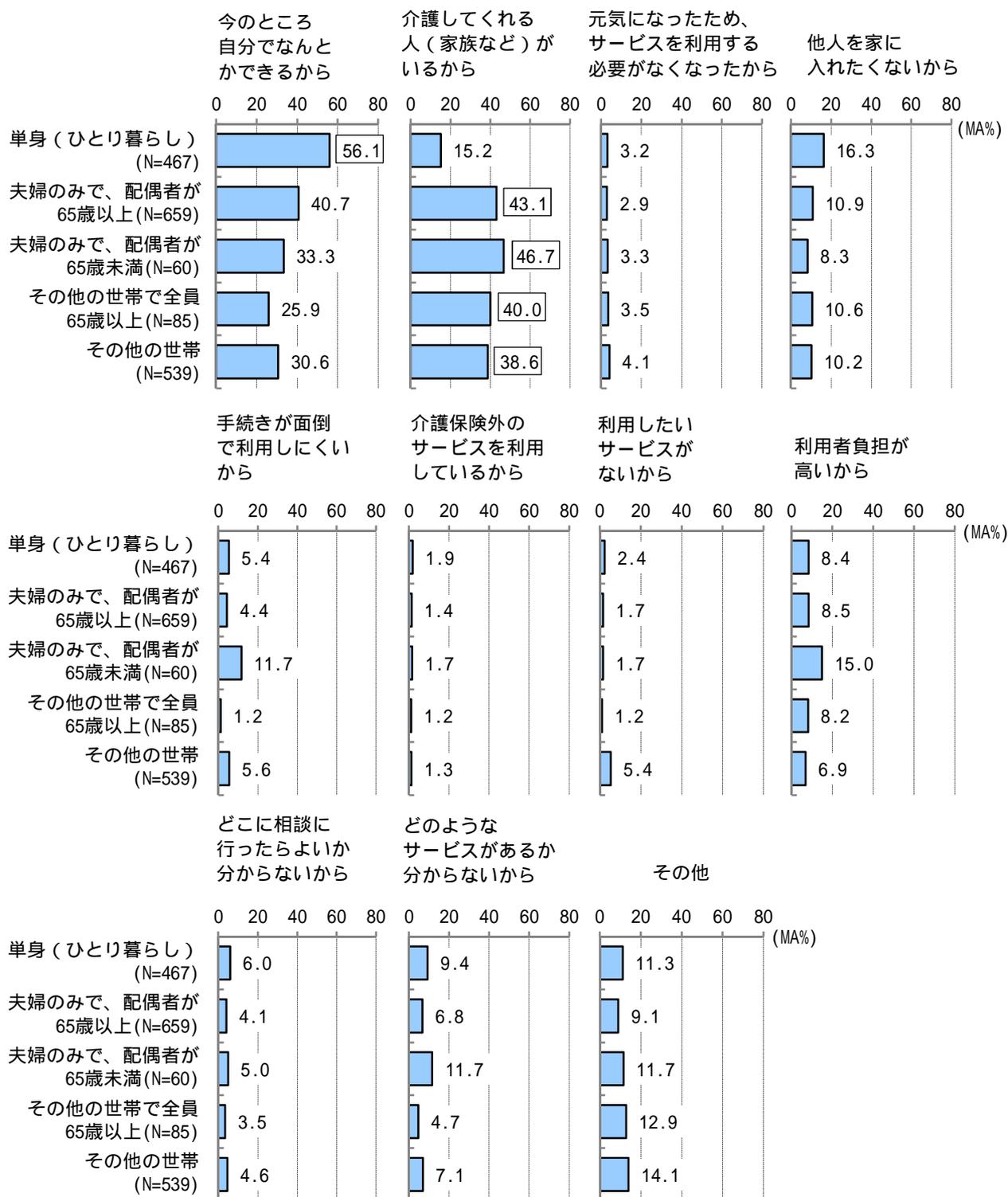


世帯の状況別でみると、「単身（ひとり暮らし）」世帯は「今のところ自分でなんとかできるから」が56.1%で最も多く、同居者の居る世帯では「介護してくれる人（家族など）がいるから」が4割前後で最も多くなっている。（図10-a）

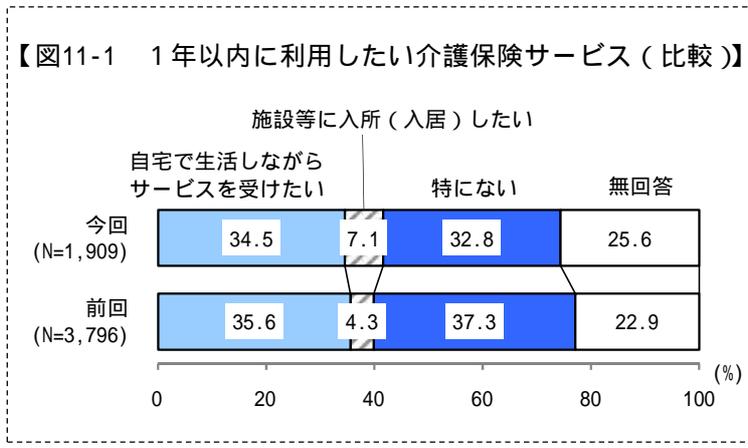
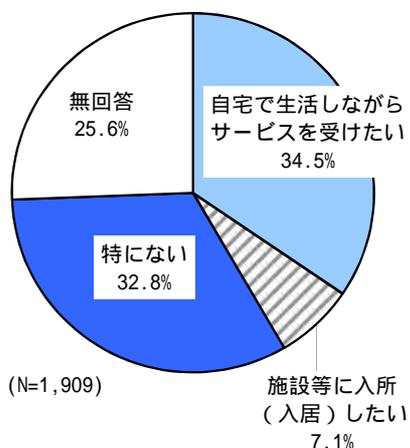
【図10-a 介護保険サービスを利用していない理由（世帯の状況別）】



問11 1年以内に利用したい介護保険サービス

あなたが1年以内に利用したい介護保険サービスについてお答えください。( はひとつ)

【図11 1年以内に利用したい介護保険サービス】

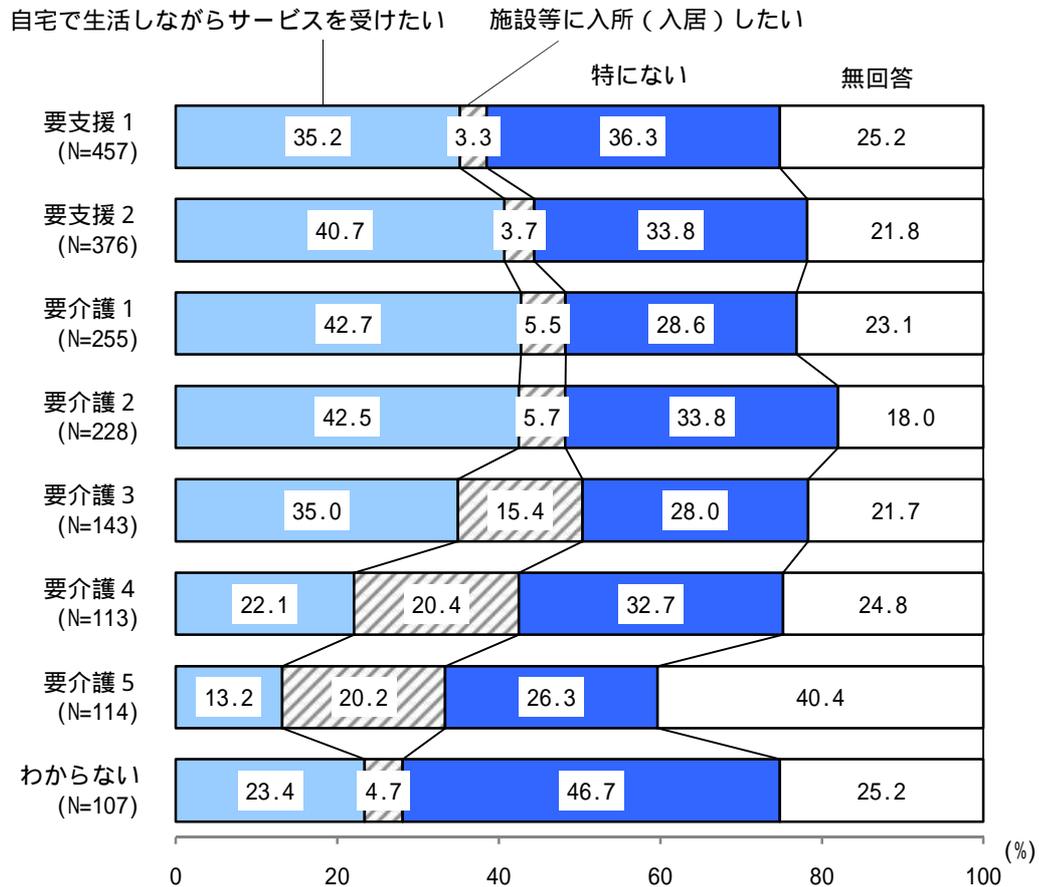


1年以内に利用したい介護保険サービスについては、「自宅で生活しながらサービスを受けたい」が34.5%で最も多く、次いで「特にない」が32.8%、「施設等に入所(入居)したい」は7.1%となっている。(図11)

前回調査と比較すると、「施設等に入所(入居)したい」が2.8ポイント増加している。(図11-1)

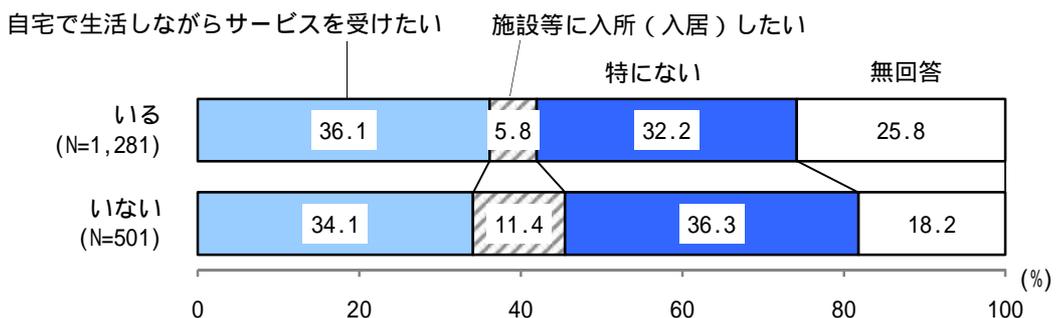
要介護度別で見ると、要支援1は「自宅で生活しながらサービスを受けたい」と「特にない」が僅差で多くっており、要支援2と要介護1～3は「自宅で生活しながらサービスを受けたい」が最も多くなっているが、要介護4・5では「特にない」が最も多くなっている。しかし、要介護度が高くなるほど「施設等に入所（入居）したい」が上昇しており、要介護4・5では2割台を占めている。（図11-a）

【図11-a 1年以内に利用したい介護保険サービス（要介護度別）】



介護する人の有無別で見ると、「自宅で生活しながらサービスを受けたい」は、介護者がいる人は36.1%に対し、いない人は34.1%で、介護者がいる人のほうが高くなっている。一方、「施設等に入所（入居）したい」では、介護者がいない人は11.4%と、介護者がいる人（5.8%）に比べ5.6ポイント高くなっている。（図11-b）

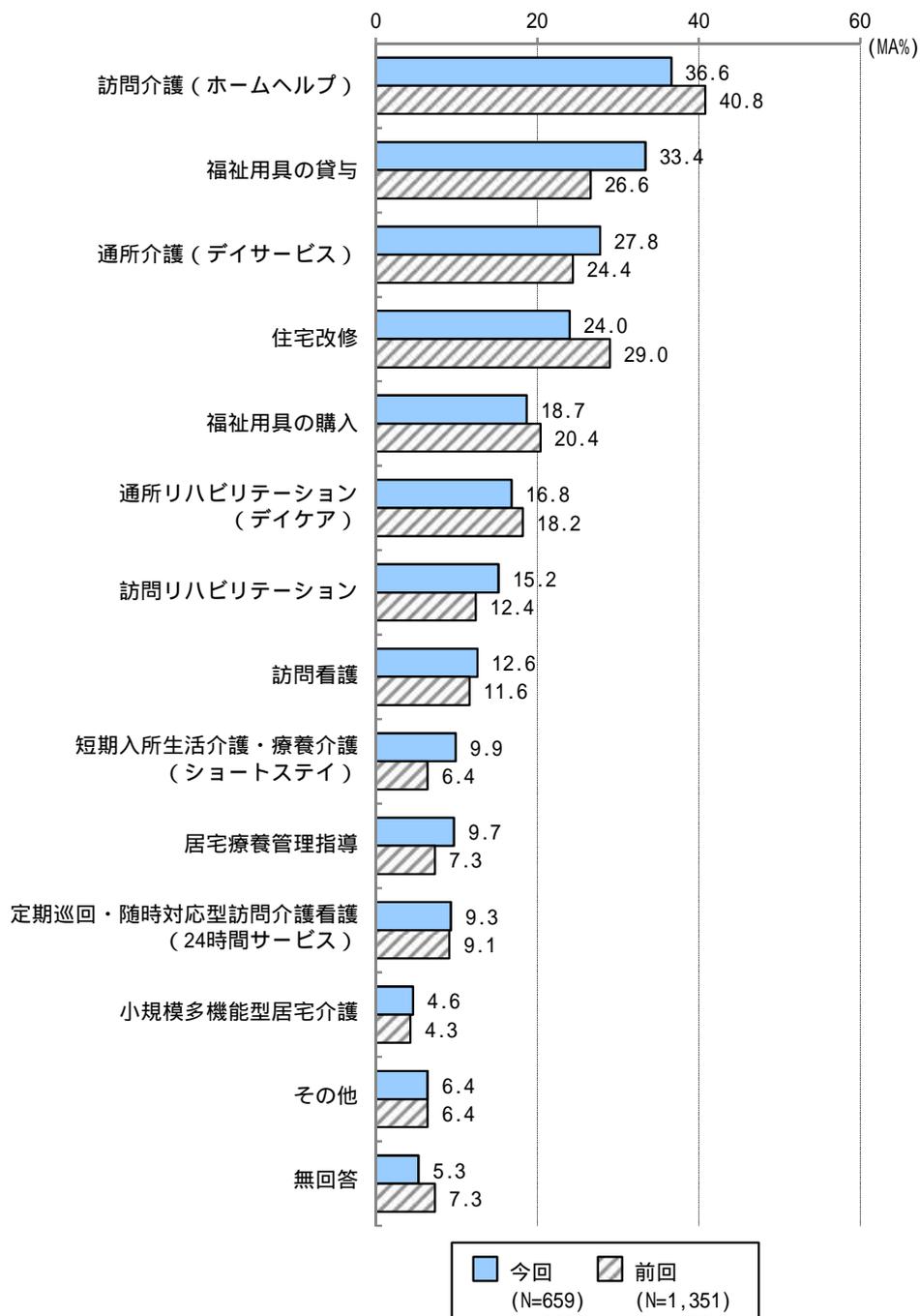
【図11-b 1年以内に利用したい介護保険サービス（介護する人の有無別）】



問11-1 1年以内に利用したい在宅の介護保険サービス

【問11で「1 自宅で生活しながらサービスを受けたい」に をつけた方のみお答えください。】  
 あなたが1年以内に利用したい介護保険サービスについて、あてはまる番号すべてに をつけ  
 てください。( はいいくつでも)

【図11-1 1年以内に利用したい在宅の介護保険サービス(比較)】

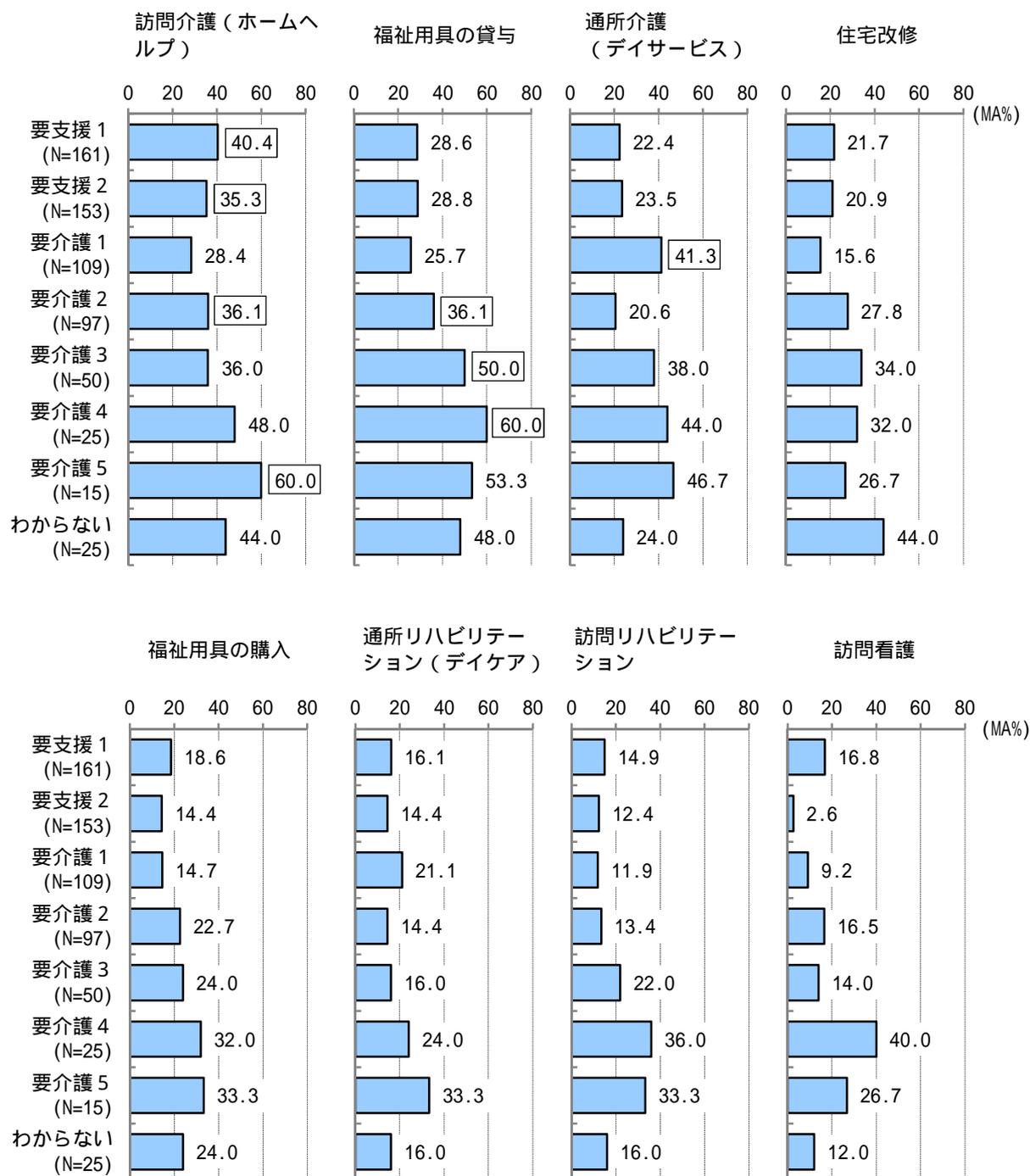


自宅で生活しながらサービスを受けたい人が1年以内に利用したい在宅の介護保険サービスについては、「訪問介護(ホームヘルプ)」が36.6%で最も多く、次いで「福祉用具の貸与」が33.4%、「通所介護(デイサービス)」が27.8%となっている。

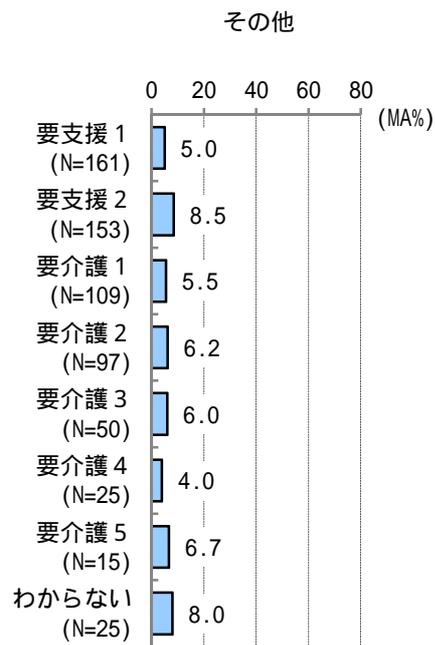
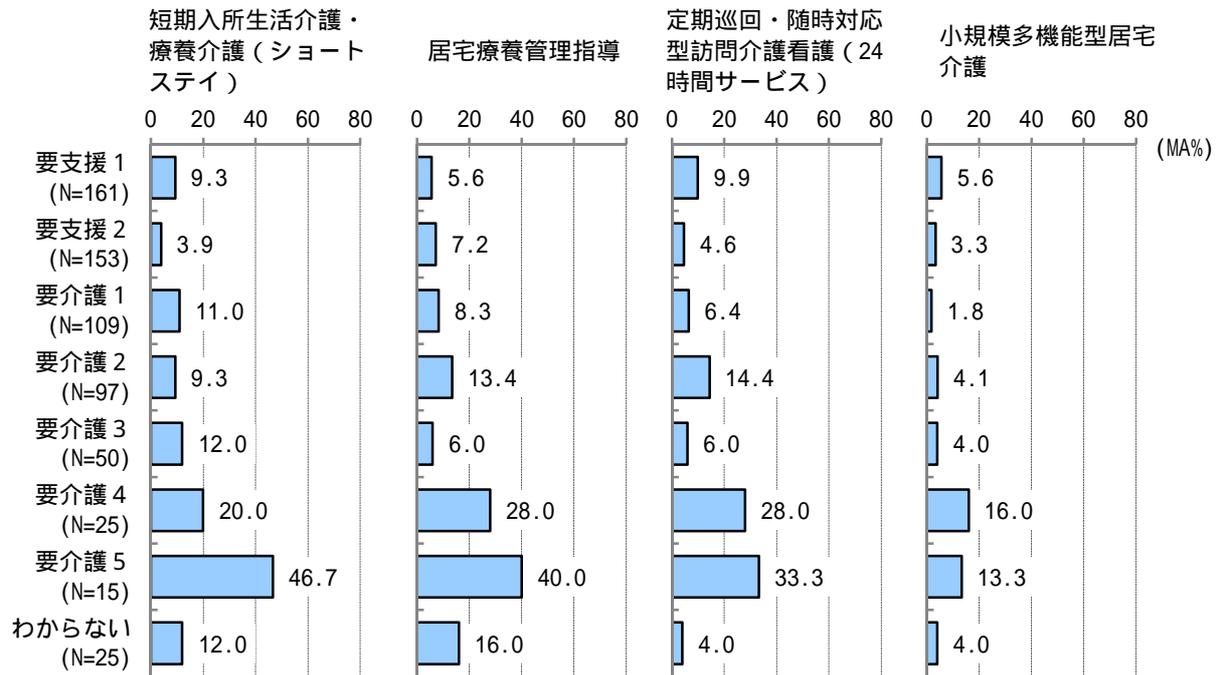
前回調査と比較すると、「訪問介護(ホームヘルプ)」は4.2ポイント減少、「住宅改修」は5.0ポイント減少となっている。一方、「福祉用具の貸与」が6.8ポイント増加、「通所介護(デイサービス)」が3.4ポイント増加している。(図11-1)

要介護度別で見ると、要支援1・2と要介護5は「訪問介護(ホームヘルプ)」が、要介護1は「通所介護(デイサービス)」が、要介護3・4は「福祉用具の貸与」が、それぞれ最も多く、要介護2では「訪問介護(ホームヘルプ)」と「福祉用具の貸与」が同率で最も多くなっている。(図11-1-a )

【図11-1-a 1年以内に利用したい在宅の介護保険サービス(要介護度別)】



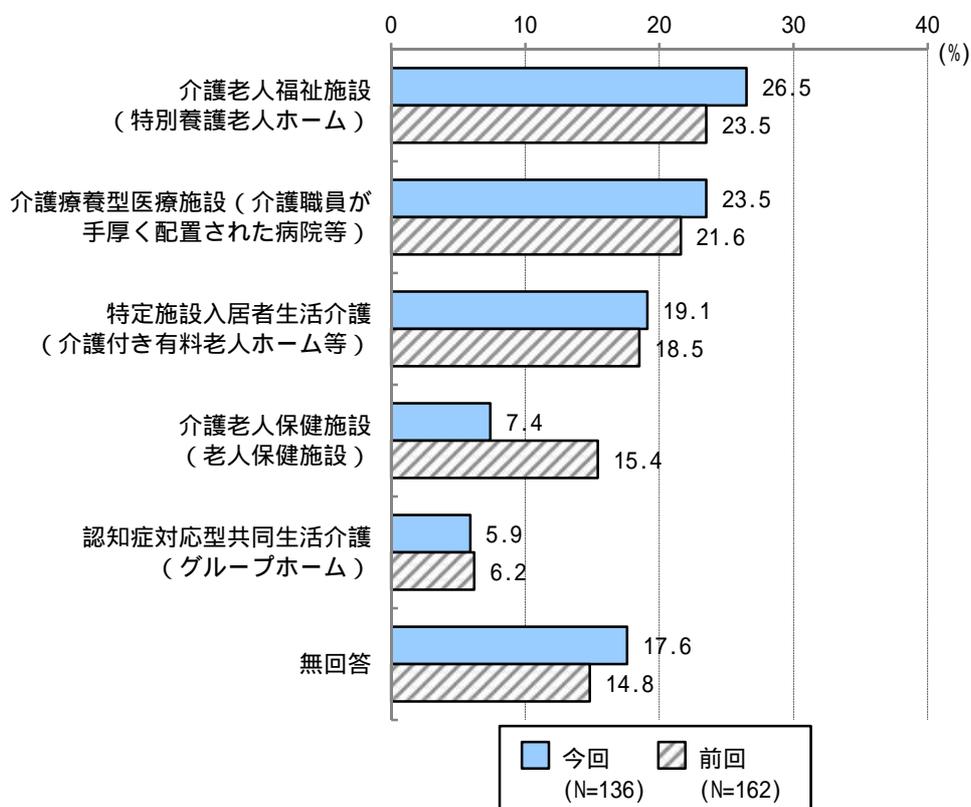
【図11-1-a 1年以内に利用したい在宅の介護保険サービス（要介護度別）】



問11-2 1年以内に利用したい施設の介護保険サービス

【問11で「2 施設等に入所（入居）したい」に をつけた方のみお答えください。】  
 あなたが1年以内に利用したい介護保険サービスについて、あてはまる番号に をつけてください。（ はひとつ）

【図11-2 1年以内に利用したい施設の介護保険サービス（比較）】

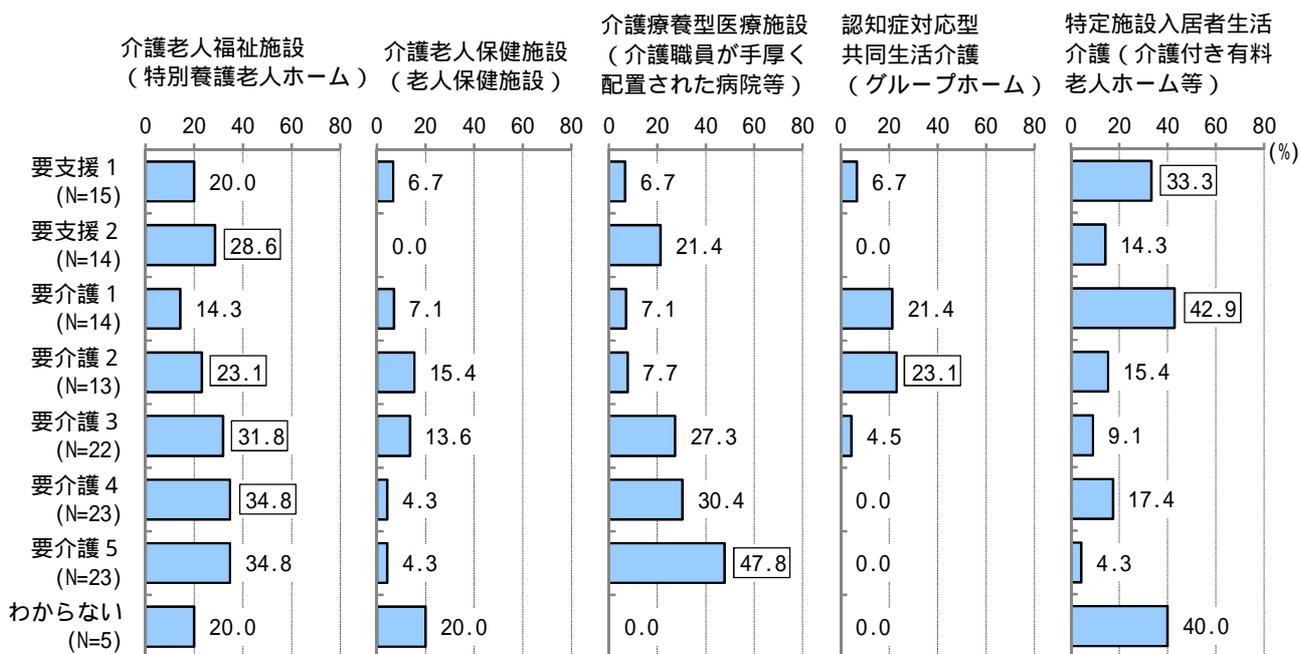


施設に入所・入居したい人が1年以内に利用したい施設の介護保険サービスについては、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が26.5%で最も多く、次いで「介護療養型医療施設（介護職員が手厚く配置された病院等）」が23.5%、「特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム等）」が19.1%となっている。

前回調査と比較すると、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が3.0ポイント増加しているが、「介護老人保健施設（老人保健施設）」は8.0ポイント減少している。（図11-2）

要介護度別で見ると、要支援1と要介護1は「特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム等）」が、要支援2と要介護3・4は「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が、要介護5は「介護療養型医療施設（介護職員が手厚く配置された病院等）」が、それぞれ最も多く、要介護2では「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」と「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」が同率で最も多くなっている。（図11-2-a）

【図11-2-a 1年以内に利用したい施設の介護保険サービス（要介護度別）】

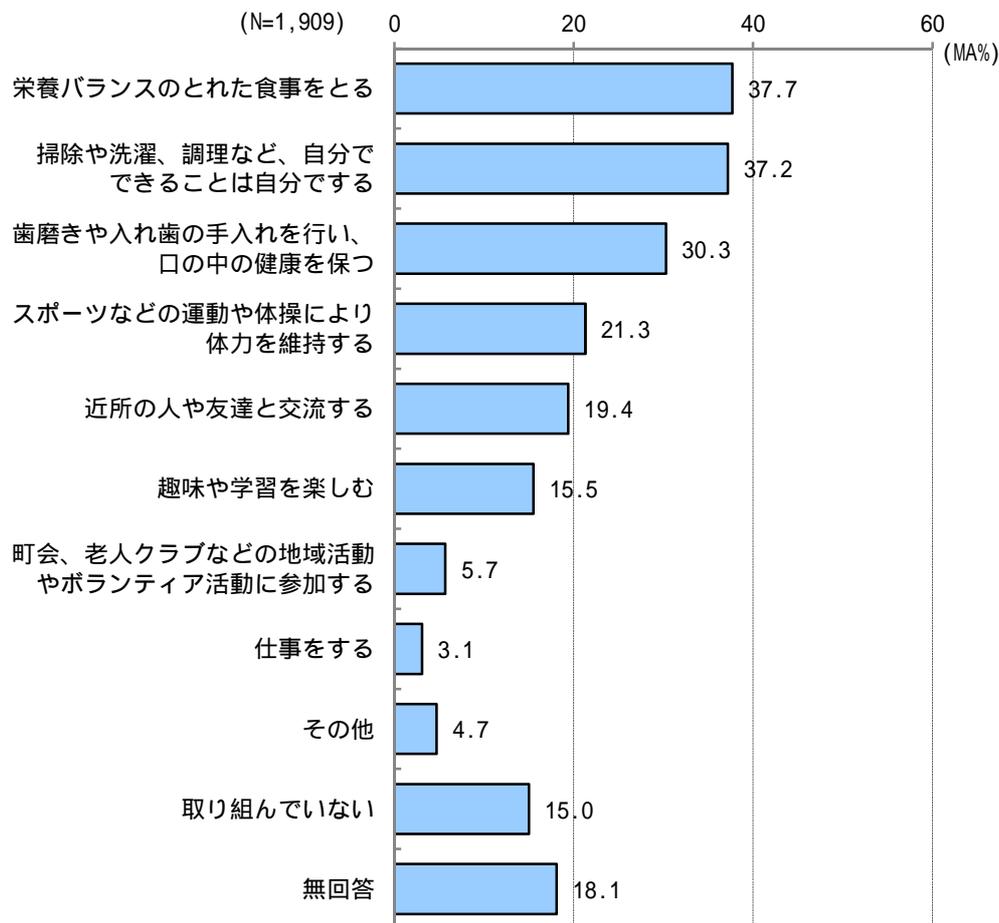


## (5) 介護予防の取り組み

### 問12 介護予防としての取り組み

あなたが、介護予防として、今取り組んでいること、または、今後取り組んでみたいことは何ですか。(はいくつでも)

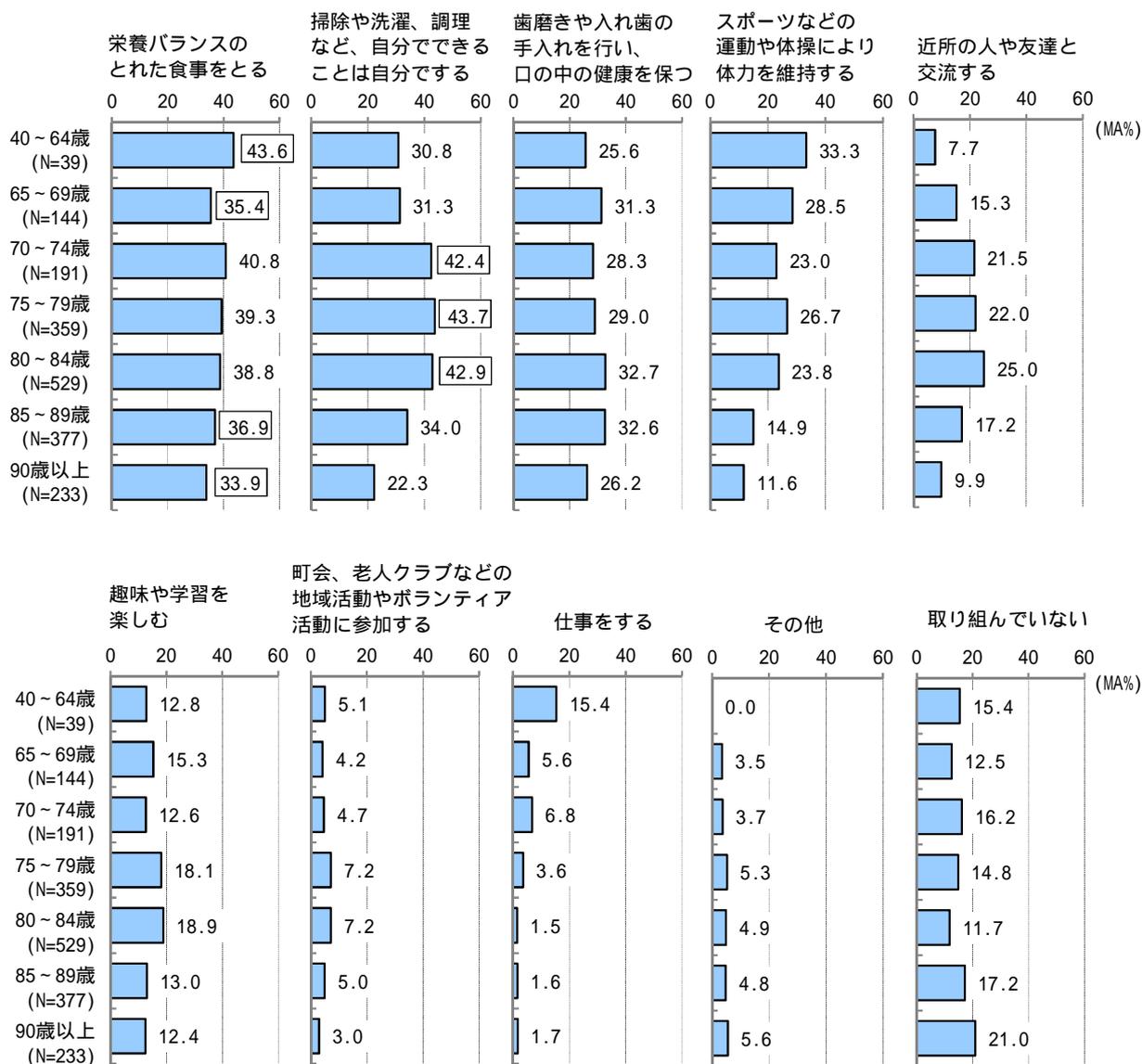
【図12 介護予防としての取り組み】



介護予防の取り組みについては、「栄養バランスのとれた食事をとる」が37.7%で最も多く、次いで「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が37.2%、「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」が30.3%となっている。(図12)

年齢別で見ると、40～64歳・65～69歳と85～89歳・90歳以上は「栄養バランスのとれた食事をとる」が、70～74歳・75～79歳・80～84歳は「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が、それぞれ最も多くなっている。また、40～64歳は「仕事をする」が15.4%で他の年齢に比べ高くなっている。「スポーツなどの運動や体操により体力を維持する」は高齢になるほど低下傾向にある。「近所の人や友達と交流する」では70～74歳・75～79歳・80～84歳で2割台となっているが、85歳以降になると低下している。(図12-a)

【図12-a 介護予防としての取り組み(年齢別)】



要介護度別で見ると、要支援1・2は「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が、要介護1～3は「栄養バランスのとれた食事をとる」が、それぞれ最も多くなっている。しかし、要介護4・5では「取り組んでいない」が最も多く、なかでも要介護4は31.9%と他の要介護度に比べ高くなっている。(図12-b)

【図12-b 介護予防としての取り組み(要介護度別)】

